

新人聞民

発行所 人民新聞社

1部 150円 購読料半年間 3,000円
本社 〒552-0023 大阪市港区港崎3-3-18 1F
TEL (06) 6572-9440 FAX (06) 6572-9441
Mailto:people@jimmin.com URL:http://www.jimmin.com 振替口座 00950-4-88555

The JIMMIN-SHIMBUN

3-3-18-1F Kousei, Minato-ku, Osaka, Japan
TEL 06-6572-9440 FAX 06-6572-9441
E-mail people@jimmin.com
Subscription: One year 6,000 yen
(include air mail postage)

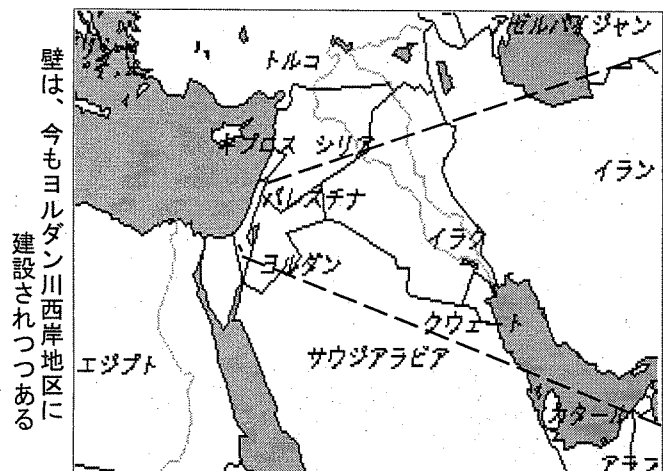
HEADLINE

- [2面] 人生奪うアパルトヘイト・ウォール
- [3面] マルフン・バルグーティの人氣
バリアのない街死への誤解と介護
- [4面] 団結と亀裂
—幾重にも分断されるパレスチナ
- [5面] ハマス独占インタビュー
「我々はパレスチナの団結のために大統領選をボイコットした」-西岸地区
総責任者・ハッサンユセフ氏
- [6面] 武装抵抗についての議論と自治政府の苦境
- [7面] 「民主化」と「妥協統一」の方向へ
西成警察・釜ヶ崎労働者への暴行事件
抗議呼びかけた稲垣氏を不当逮捕

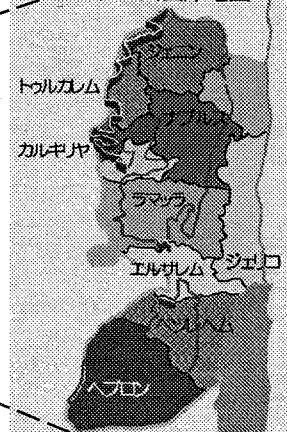
アッバス新大統領選出 どうなる?!

ポストアラファートのパレスチナ

アパルトヘイト・ウォールに描かれた壁画



ヨルダン川西岸地図



インティファダは和平交渉の障害物なのか? 解放の鍵なのか? こうした問いかけと自問の中でパレスチナ大統領選挙が行われた。今回の新議長選出選挙は、単にアラファト氏の後継者を選ぶという選挙ではなく、インティファダの意義を問い、パレスチナ建国に向けた戦略を問う選挙となった。

一方、米国占領下のイラクも一月三〇日に選挙が予定されているが、抗米闘争は勢いを増し、米軍によるイラク攻撃はその大義と

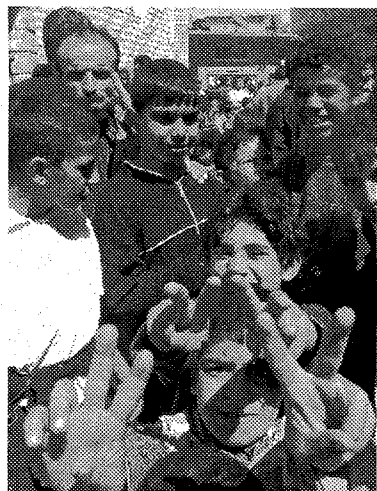
もにブッシュの世界戦略破綻を日々明らかにしている。

こうした中、ブッシュ大統領とイスラエル首相シヤロンは、アラファト氏の死を奇貨として「和平」という名のパレスチナ抵抗勢力封じ込めに乗り出している。新議長の下でイスラエルとの和平交渉が準備されているが、ブッシュを後ろ盾としたイスラエル政府の交渉態度は、パレスチナ側の一〇〇歩譲らせて一歩退くといった一方的なもので、パレスチナ自治政府にとって極めて困難な交渉とならざるをえない。

ネオコン・ブッシュの世界戦略にとって中東流動化と再編は、その要であるがゆえに、イラクとパレスチナの行方は、二一世紀の世界の大きな流れを決めるといっても過言ではない。

こうしたなか、パレスチナの各政治勢力は、和平・建国に向けてどんなビジョンを示しているのか? パレスチナの人々はどんな選択を行おうとしているのか? さらに「テロ防止」を名目に建設される「分離壁」の実態とその影響はどのようなものか? 二月上旬占領下のパレスチナに飛んだ。

(編集部・面に続く)



2000年初頭のプリズムに「ふたつの素晴らしいこと」が記されている。ひとつはNGOなどによるシアトルWTO閣僚会議粉砕が画期的な流れを生み出すだろうということ。もうひとつは、世界の妥協なき消費者運動によって遺伝子組み換え大豆の作付けが減少し、多国籍企業の動きを牽制する連帯行動が生まれたこと▼この流れに沿って「世界社会フォーラム」が姿を現し「生命系民主主義」というアイデアが登場した。グローバリズムが各国政府の民主政治を掘り崩し、文化ネットワークを解体させている。その結果、民主的・宗教的熱狂に訴え、生命より利潤を保護する政治家が生き残っていく。こうしてグローバリズムの同伴者として原理主義は生まれている▼アメリカ政府とミニブッシュたちによる「テロリズムと環境＝農業破壊」という原理主義をゆるさず、「オルタナティブな経済・社会の仕組みを、地域の人間関係のなかで暮らして見せる」という戦略を世界各地で実践しよう。

(I)

戦後日本社会が還暦をむかえた。元日のマスコミ各紙の社説はおおむね、還暦を祝う論調と、だから変革をと叫ぶ論調に二分されている。「保守」が変革を主張し、「革新」が歴史を回顧し還暦をたたえる。それは危険な時代の徴候だ▼憲法改正、教育基本法改正。アジアへの立脚、伝統的価値の復権。これらがスローガンとして叫ばれる一方、現実にはアメリカへの従属、家族の解体、農村の解体、中国敵視が進められている▼そうだ。奴らにビジョンなどないのだ。では、我々にビジョンはあるのか。グローバリゼーションが変えつつある世界を了解する構想を、我々は組み立てつつあるのか▼繰り返され、蓄積され、関係の要として変革の力となり得る日常生活を、我々は生み出している。その地域をテコに、世界を変革する構想を創造する時代の到来だ。悲観している暇はない▼思考せよ! 行動しよう! 今日もお獄につながれている幾多の人々と共に!

(M)



謹賀新年。今年もよろしくお祈りします。さて、今年は兵庫県南部地震から10年を迎えます。行政、マスコミ、市民団体、ありとあらゆる人たちが「震災10年の教訓」づくりにあけくれ、新潟中越地震に何かと関連づけてようとしています。エセな議論が横行している様子をみるにつけ辟易とします▼小千谷市では自衛隊が出張して、さながら戒厳状態であったことは多くの人たちが見聞きしていること。なのに、「これっていいの!」なんて誰も言わない。地域権力体が崩壊しないで残っただけなのに「コミュニティが強い」と持ち上げて、じゃあその強いコミュニティがストレス死や避難所の実質的強制退去を起こしたことにタブーのように口をつむんでいます。行政権力と地域権力に管理・統制され、権威づけされるボランティアども。あ〜いやになる▼もっと明るい未来を思い描きながら、「復興」とは語られるものではなかったのだろうか。

(K)

「サービス残業不払い賃金248億円」「有給休暇、過去最低の取得率47%」「うつ病など精神疾患労災請求、過去最多246件」(03年度厚生労働省調査)これは最近の新聞の見出しだ。同調査では、精神障害の患者数は02年に52万9千人で、3年前より4万人増加、6割を超える労働者が仕事に関する強い不満やストレスを感じていると答えている▼これらは正規雇用労働者の労働実態であって、現在全雇用労働者の34%、約2千万人といわれる非正規労働者の無権利状態は押して知るべしである。今や労働現場は労働法の無法地帯、労働組合のゼロ地帯である。戦後日本の労働運動は振り出しに戻ったと言わねばならない▼世界資本主義は科学技術の発達による合理化によって今日の社会的富と文明を築いたが、それらは陽の当たる部分であって影の部分の労働者・農民の搾取と収奪の基本構造は何ら変わっていない。資本主義の原理主義は影の部分に貫徹しているのである。

(F)

イ軍に破壊された家屋。左は、説明する堀越さん(妙法寺僧侶)



東エルサレムに住むパレスチナ人の家が「合法的」に破壊されている。そのからくりは、以下のとおりだ。家族が増え、

自分の地所に新しく家を建てようと建築許可を申請しても、イスラエル当局は、5年も10年も放ったらかしにするのである。実際、パレスチナ人への建築許可件数は、イスラエル人に比して極端に少なく、こうした差別的行政システムが背景にある。

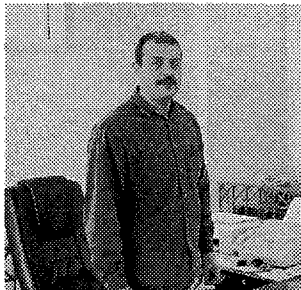
「待っても無駄」と判断し、あるいはしびれを切らして家を建てると、もうすぐ完成という時期を狙ってイスラエル軍がブルドーザーで新築の家を破壊するのだ。理由は、「建築許可のない家屋だから」。

そもそもアラブ地域には、土地を登記するという慣習がなかった。ここにイスラエルが西洋の制度を持ち込み登記されていない土地を没収した。これも合法的な土地の収奪である。

「合法的」に破壊される家屋

新年特集 パレスチナ現地レポート

人生奪った アパルトヘイト壁



「壁」ができてから売上が七割減ってしまった。六人いた従業員も今じゃ二人。何とか営業を続けたいと思うが、これじゃあ店を閉めるほかないね」

エルサレムとラマラ・パレスチナ議長府所在地・政治の中心を結ぶ交通の要所であるベイト・ハニナナの表通りで家具店を営むサミーさん(五〇歳)は、壁の影響をこう語る。

ベイト・ハニナナは、エルサレム旧市街タマスカス門から出るバスに乗り北へ二〇分ほどだ。丘を越え、次から次へと現れる入植地を横目に見ながら小さな検問所を通り抜け、四車線の街道を走っていると、セ

ンターラインに沿って高さ八

リト製の『壁』が突然現れて、この道を二つに切斷した。北部から建設されてきた壁は、ベイト・ハニナナを超え、エルサレムに向かっているところだつた。



道路が「壁」でふさがれたため、横の民家が自宅の塀の一部を開放してとりあえずの通路を提供している。ここもいずれ壁でふさがれるのか。(アザリア・2004/12/4)

パレスチナ国家 の実態を破壊

壁がパレスチナ人の生活に

いかに大きなダメージを与えているか? 街の声をさらに紹介する。イマール・オデルさん(五〇才・アルクッド大学教授)だ。

「見てわかる通り、この壁によってこの町は道路で分断されてしまいました。わずか二〇分先のお店に行くのに一時間もかかります。私は、職場であるアルクッド大学キャンパスまで、以前なら車で一〇分でしたが、今では、うまく行っても一時間はかかります。」

子供が学校に行くのも大変です。壁のためにバスが通らなくなったので、雨の日でも遠いバス停まで歩き、遅くバスに乗っても一、二時間もかかってしまいます。子供たちはほとんど毎日遅刻です。



イマール・オデルさんは、アルクッド大学教授。子どもの通学も困難になった。

(三面上へ続く)

いる。建設工事は北部から始まり、現在エルサレムから南部に延びようとしている。国際司法裁判所オランダ・ハーグ、ICJは、占領地での分離壁建設は違法に当たり、中止を撤去すべきだとの勧告的意見を言い渡したが、その後も建設は続けられている。

北部では、豊かな水資源と農地に恵まれた重要な資源の宝庫が壁の外側に置かれ、事実上イスラエルに接収された。特に西岸北部のカリキリヤ・トウルカレム地方は、イスラエル・パレスチナにとって重要な水源である「西地下水源」を抱える豊かな農業地帯である。この地方だけで、西岸で消費される野菜や果物の実に六〇%が生産されるという。分離壁は、イスラエルとの境界グリーンラインから大きく西岸に組み込んで建設されており、パレスチナに残された豊かな土地をさらに接収している。

「壁」建設の目的は、「テロ防止」ではなく、「国境線の確定」でもない。パレスチナ人を壁に囲まれた居住地区に押し込めてゲットを作りあげ、パレスチナ人地区をイスラエルに付属する「地域」として分離し、パレスチナ国家建設を実態のないものにすることにあり、「安

い労働力とイスラエル製品の消費者としてののみ存在するパレスチナ人を隔離するための壁」という意味で、「アパルトヘイト壁」と呼ぶにふさわしい。

謹賀新年

今年も共に頑張りました!

地域が変われば世界が変わる
(有) 東大阪産地直送センター
代表取締役

野口博文

〒578-0932
東大阪市玉串町東二丁目一〇
電話(〇七二九) 六八八六六〇二
FAX(〇七二九) 六八八六六〇二
E-mail: kishio@kita-osaka.co.jp

ブレインセンター
社長・編集長

稲田紀男

大阪市北区天満四丁目二二番一三
電話(〇六) 六三三三三三〇〇
FAX(〇六) 六八八一一一六三〇〇

一矢の会

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町一八八六
日本会館八階桜丘法律事務所内
電話(〇三三) 三七八〇九〇九三

株式会社 現代書館

東京都千代田区飯田橋三二二番一五
電話(〇三三) 三二二一一三二二
FAX(〇三三) 三二二一一三二二
http://www.gendai-shokan.co.jp/

松本法律事務所

弁護士 松本健男
司法書士 長谷川達雄

大阪市北区西天満三丁目一四番一六号
電話(〇六) 六三三三三三三三
FAX(〇六) 六三三三三三三三

(有) 瀬戸田農場

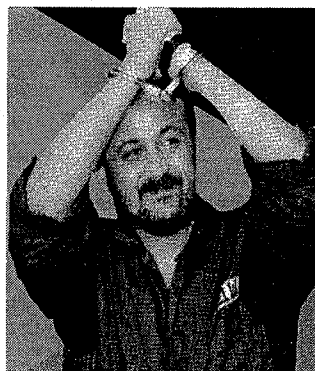
加藤憲章

広島県豊田郡瀬戸田町中野五二八
電話(〇八四二二) 六四四〇一四

新年特集 パレスチナ現地レポート

マルワン・バルグーティー

The man of the streets の圧倒的人気



الإفراج عن الأسرى

عن المعتقلين

أر الاحتلال

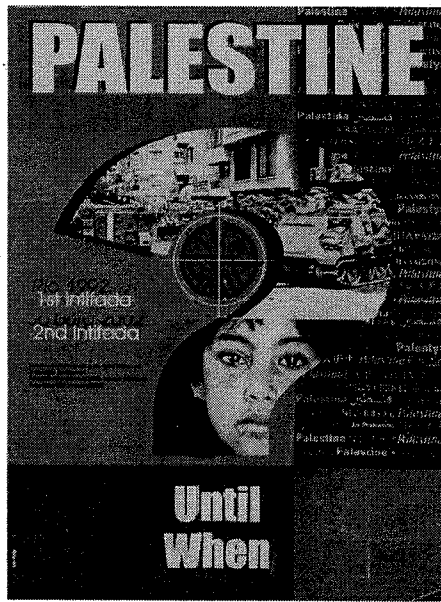
(二面下より)

ラムラから乗り合いタクシーで北へ三〇分くらい走ると、街道から少し離れた小さな丘の上にビルゼイト大学がある。学生数約六五〇〇人(五二%が女性)のパレスチナを代表する大学である。華美な施設はない。大学に必要な最低限の施設だけが整然と並んでいる。キャンパスには、サークルの勧誘ポスターに混じってハマスなどの政治組織の旗も掲げられている。ちよと昼食時のため広くないキャンパスは学生でこたえていた。

中庭で談笑しているパレスチナ人学生に「大統領選挙で、誰を支持するか?」を聞くと、多くの学生が「マルワン・バルグーティー」を答える。

バルグーティーは、獄中から立候補を表明した。終身刑五回の判決を受け、イスラエル刑務所に拘束されているからだ。彼は最終的に立候補を断念したが、獄中からの立候補表明は、第二次インティファダ(抵抗闘争)の評価と継続に深く関係している。同じファタハのアッバス氏は、イスラエル政府との交渉による「和平・国家樹立」を目指しており、第二次インティファダは誤りだったとの立場を表明するにいたっているからだ。

これに対し、「インティファダ継続を求める人々が、マルワン・バルグーティーに強く立候補を求めた。パレスチナに一方的な譲歩を迫られたいという人々に対して、インティファダは、ある日突然始まり、死によって終結される、最後まで不透明な世界である。施設自身もそれを分かっている。断片的な場面を見せながら、福祉の抱える今の問題を社会に問いかけることが出来ないままに、施設は受



占領はいつまで続くのか?

や政治家など。

もちろん、意欲と学ぶべき課題を持つて訪れるのであれば、大いに歓迎すべきである。だが、そうとは思えない人々が、残念ながら目に付く機会が増えてきた。地域の人々にとって、福祉の相談窓口となるべき施設が、訪れるには敷居の高い「代償行為の場」とやりに甘んずるのであれば看過出来ない。

②死に対する 誤解と介護



多士済々の福祉施設来訪者

福祉施設とは言うまでもなく、誰にでも開かれた場である。また「社会へ向けて福祉の情報を発信する」という、重要な役割も課せられている。ところが近頃、「福祉と社会を繋ぐ場」としての施設は、その役割が変化し始めた気がする。このままでは「福祉に関

動機を問わず施設を訪れる多くの人々にとって、中に行われる介護とは、①一般社会から離れて、②特殊な環境を通じ、③経験豊富な者によつてのみ実施されるべきである——という発想が依然強いのだろうか?仮にそうであっても、人間の生命は、様々な技術の進歩をもつて未だ永続的なものではない。誰もが直面する「死の現実」にこそ立ち返るべきである。

ところで読者諸氏は、施設の中でどの様な介護が行われているかご存知だろうか?ここで誤解されては困る事だが、利用者の中には日常生活で難しい部分に対する介護を求めている。例えば特別養護老人ホームに入所している人でも、個人差はあるが、日常で半分程度は身体介護を必要とし、その度には施設が提供するべき重要な介護とは、入居す

る各々に続く苦しい日常を軽減させる年中行事など娯楽の要素や、安定した接遇の態度などであろう。施設職員も娯楽企画には日々苦慮し、礼節を重んずるのが実情である。筆者は施設の持つこうした「もつと『明るい』部分にこそ、もっと脚光を当てて欲しい」と思っている。元来施設は心身の不安定な人々に、生き生きとする明るさを励ましていく楽しい場のはずだから。

介護する側も、読者諸氏も、そして筆者も、何れは介護を必要とするときが来る。それは特別な事ではない、という意識が改めて求められる。福祉が資本ビジネスに委ねられても淘汰を経て尚施設は永続性を求められる。現在の社会体制が如何様に変化を遂げても、施設は社会と福祉を結ぶ常に必要な世界である。社会全体を覆う「死に対する誤解」は、介護体験を得る事よりも我々自身の生き方を見直す事で解けてくる。

(文中敬称略/月一回連載)

当たり前にあるべき介護と死

アッバス氏が、第二次インティファダを「誤りだった」と表明せざるをえない理由はどこにあるのだろうか?

抵抗運動が直面する困難

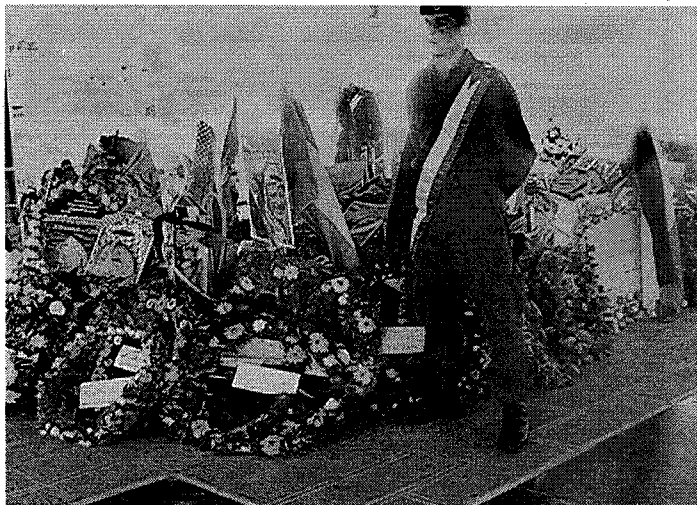
世界で最も危険な国=アメリカ 反テロ宣伝と反イスラム主義

パレスチナ人への攻撃を強めました。かつてドイツやソ連が西側社会から敵視されていたのと似て、今はイスラム世界が憎悪の対象とされています。この語るのは、ヘブライユ大ユダヤ系学生のヤイル君だ。彼は軍隊経験の中でパレスチナ占領の実態を知り、除隊後左翼活動を始めたそうだ。

同大アラブ系学生のマフムード君は、「アメリカについてどう思っている?」と尋ねられ、世界で最も危険な国だ。イラクを見りやわかるじゃないか。イラクでいったい何人が殺されたか!彼らの答えは明快だ。

(四面上へ続く)

大統領府敷地内に設けられた故アラファト大統領の墓には、来訪者が絶えない(ラマッラ・12/5)



抵抗運動は、こうした厳しい

団結と亀裂

に似た感情なのだ。

新年特集 パレスチナ現地レポート

「インティファダもやった、国際社会にも訴えた、でも現実が悪くなるばかりだ」

(三面下より)

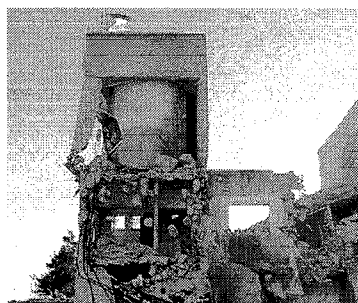
「新議長に何を期待するか? 誰がなったって同じさ。これまで議会が開かれ、各種委員会が組織され、様々な決定がなされ、地域で話し合い、街頭にも出た。でも何にも変わらなかった。この三年の闘いの結果がそこに見える。実際のところ何も期待できないじゃないか。」

こう吐き捨てるように語ったのは、エルサレムへの南の入り口であるアザリアで、二〇数年間薬局を営んできたアブドラさん(五〇歳)だ。二年前にこの街道にも「分離壁」が作られ、二〇年続けてきた薬局を近く閉店しなければならぬという。アブドラさんの言葉は、「インティファダもやった、国際社会にも訴えた、でも現実が悪くなるばかりだ」とのあきらめに似た感情なのだ。

何のための?

西岸工場地区構想

西岸地区内に工業地域を作るという構想が進められている。パレスチナ経済開発のためではない。オーナーには形式的にはパレスチナ人が座る場合もあるが、実質的にはイスラエル資本である。工業地域には安いパレスチナ人労働者が雇用され、稼いだ金でイスラエル商品を買わせるのである。パレスチナ人を安い労働力と消費者としてイスラエル資本に組み込むのである。この構想が現実化すれば、まさに南アフリカのバンツースタンが、パレスチナで再現されることになる。



この構想はイスラエルの安全保障上もメリットがある。工業団地を西岸地区に建設するため、パレスチナとイスラエルの境界を超えてパレスチナ人へ移動許可を与えるリスクがなく、雇用の際もたとえば「抵抗運動には参加しない」ことを誓約させたり、パレスチナの抵抗運動や攻撃を理由に工場を閉鎖すれば、パレスチナ人内部から抵抗運動への批判を引き起こすことも可能だ。

今イスラエル資本は、この構想への出資を日本を含む世界中の企業に呼びかけているとの情報もある。

ファタハが、政権を離脱することとは確実で、統一政府にはならない。現在パレスチナ諸政党は新政府に協力することで合意しているが、かなり深い対立をはらんでいる。大統領選後もかなり混乱することが予想されると語っている。

実際にハマス幹部へのインタビュー

パレスチナの人口と面積

総人口 約930万人 (2002年) (パレスチナ中央統計局)
西岸・ガザ人口 約330万人 (2001年) (パレスチナ中央統計局) (居住者のみ)
西岸 約210万人 (内、東エルサレムは24万人)
ガザ 約110万人
難民 約387万人 (2001年)
西岸61万人、ガザ85万人、ヨルダン164万人、シリア39万人、レバノン38万人
西岸・ガザの面積
約6,165km²
西岸5,800km² (三重県とほぼ同じ)
ガザ365km² (種子島より小さい)



幾重にも分断されるパレスチナ社会

団結形成の困難さには、社会的理由がある。それはパレスチナ社会が幾重にも分断され、利害対立を生む土壌が半世紀

にわたって作られてきたことだ。国外に追われた在外難民、西岸とガザ、イスラエルのパレスチナ人と、地勢的に分断され、相互の訪問は占領下では禁止されている。さらに西岸だけを見ても東エルサレムに住みイスラエル市民権を持つ者と持たない者、チェックポイントのあちこちとちらでも、就職・就学・日常の通行の利便性に大きな違いがある。

「パレスチナ国家樹立」という政治スローガンで一致していても、こうした立場や利害の違いは、陰に陽に団結を蝕む。左翼勢力に対抗させるためにイスラエル治安当局がイスラム勢力を支援していたという事実も忘れてはならない。

(六面上へ続く)

謹賀新年

今年も共に頑張りましょう!

能勢農場

大阪府豊能郡能勢町山辺一七三二
電話 (〇七二七) 三四一一七九七

代表取締役 堀江英世

〒756-0806 山口県小野田市中川二丁目三十一
電話 (〇八三六) 八三三三二八六
FAX (〇八三六) 八三三二四〇八
E-mail horieh@do6enjoy.ne.jp

原野公認会計士事務所
(有) 原野経営研究所

宮崎学

<http://www.miyazakimanabu.com>

地域から協働社会を創造するため
情報交流と理論作業に努めます
地域・アソシエーション
研究所

〒567-0828 茨木市舟木町三十一二福寿ビル五階
電話 (〇七二二) 六三〇一五六〇七
FAX (〇七二二) 六三〇一五六〇六
E-mail: local-associ@groupnet.ne.jp

日本共産党 (ML)

全国準備会議長 北川哲也

高知県加美郡野市町西野三五〇一
電話 (〇八八七) 五六二二八二七

日本社会主義共和国の
樹立を目指す
プロレタリア社会主義革命の
勝利のために
反帝民主統一戦線を
発展させよう



ハマス 独占インタビュー

「我々はパレスチナの団結のために 大統領選をボイコットした」

ハマス西岸地区総責任者 ハッサン・ユセフ氏

「テロ」は犯罪である

編：ハマスは大統領選挙のボイコットを決めました。その理由は？

ハッサン：実は、アラファト氏が逝去した直後、ハマスはパレスチナ内部の状況を再編する為に、パレスチナ統一指導部の建設を提案しました。しかし、その提案は、あるパレスチナ勢力（ファタハ・編注）から一方的に拒否されたのです。彼らは、他の人々の意見や希望など、全てを自分たちだけで実行できる、と言うのです。

他に問題がありました。もし、私たちハマスが大統領選挙に勝ったら、パレスチナ自治政府の再編や和平交渉の方針変更などを提案することになります。これは、自治政府に大問題をもたらすことになるのです。

編：自治政府の再編過程をどう見えていますか？

ハ：今、諸外国の外交訪問団がパレスチナを訪れています。しかし、それはパレスチナの民衆に何らの解決や発展をもたらしません。私たちが望んでいるのは、パレスチナ問題の根本的解決に責任を持つこととする人々です。

世界の人々は、今もパレスチナの民衆に襲い掛かっている虐殺、強硬な占領政策による締め付け、パレスチナ民衆の更なる被害状況を見聞しているだけではないですか。今インタビューを受けているこの瞬間にも、イスラエル軍が五人も虐殺したというニュースが入りました。

そうなんです。私はイスラエ

を持っていきます。日常的な、社会的、教育的、福祉的な活動分野などです。「テロ」は犯罪です。もしハマスがテロリスト組織なら、人々は決してハマスを支持しないでしょう。

ところが、ハマスは民衆に支持されているし、特にインテリ層の中で増大しています。ハマスでは、多くのソーシャルワーカーが働き、幾つもの教育財団やスポーツ財団を運営しています。財政は、全てガラス張りです。パレスチナ自治政府ができる前の占領下でも、ハマス財団へ寄せられる募金はいつも公開されたものでした。この時期、政府になる勢力はハマス財団の募金動向を調査し、支出の追求調査もしてきたのです。

私たちは、自治政府だけでなく、パレスチナの民衆の側にあるのではない。ハマスの側にあるのではない。イスラエルの占領と侵略行動の継続こそ問題があるのです。私たちは、自衛権を行使しているだけに過ぎないのだから。私たちは、日本、EUなどの国々によるパレスチナ民衆への支援をとても感謝しています。そして、この支援が今後私たちの国のインフラ建設に向けて続けられることを願っている。そして、あなたの方から願いたいのは、どうかイスラエルの暴虐な占領を止めさせる為に圧力をかけて欲しいと言っています。

私たちは、自治政府だけでなく、パレスチナの民衆の側にあるのではない。ハマスの側にあるのではない。イスラエルの占領と侵略行動の継続こそ問題があるのです。私たちは、自衛権を行使しているだけに過ぎないのだから。私たちは、日本、EUなどの国々によるパレスチナ民衆への支援をとても感謝しています。そして、この支援が今後私たちの国のインフラ建設に向けて続けられることを願っている。そして、あなたの方から願いたいのは、どうかイスラエルの暴虐な占領を止めさせる為に圧力をかけて欲しいと言っています。

「今」しかない

編：自治政府の再編過程をどう見えていますか？

ハ：今、諸外国の外交訪問団がパレスチナを訪れています。しかし、それはパレスチナの民衆に何らの解決や発展をもたらしません。私たちが望んでいるのは、パレスチナ問題の根本的解決に責任を持つこととする人々です。

世界の人々は、今もパレスチナの民衆に襲い掛かっている虐殺、強硬な占領政策による締め付け、パレスチナ民衆の更なる被害状況を見聞しているだけではないですか。今インタビューを受けているこの瞬間にも、イスラエル軍が五人も虐殺したというニュースが入りました。

そうなんです。私はイスラエ

を持っていきます。日常的な、社会的、教育的、福祉的な活動分野などです。「テロ」は犯罪です。もしハマスがテロリスト組織なら、人々は決してハマスを支持しないでしょう。

ところが、ハマスは民衆に支持されているし、特にインテリ層の中で増大しています。ハマスでは、多くのソーシャルワーカーが働き、幾つもの教育財団やスポーツ財団を運営しています。財政は、全てガラス張りです。パレスチナ自治政府ができる前の占領下でも、ハマス財団へ寄せられる募金はいつも公開されたものでした。この時期、政府になる勢力はハマス財団の募金動向を調査し、支出の追求調査もしてきたのです。

私たちは、自治政府だけでなく、パレスチナの民衆の側にあるのではない。ハマスの側にあるのではない。イスラエルの占領と侵略行動の継続こそ問題があるのです。私たちは、自衛権を行使しているだけに過ぎないのだから。私たちは、日本、EUなどの国々によるパレスチナ民衆への支援をとても感謝しています。そして、この支援が今後私たちの国のインフラ建設に向けて続けられることを願っている。そして、あなたの方から願いたいのは、どうかイスラエルの暴虐な占領を止めさせる為に圧力をかけて欲しいと言っています。

謹賀新年 今年も共に頑張りましょう！

関西よつ葉連絡会

株式会社 府南産直センター

代表取締役 渡邊 了

〒590-0132

大阪府堺市東区山台一丁目二

電話 (072) 296-3050

FAX (072) 296-3050

E-mail: nabene@yotuba-funan.com

URL: http://www.yotuba-funan.com

つなかりを力に今年もがんばりましょう！

大阪府堺市西區二丁目一五五
電話 (072) 727-7776
FAX (072) 727-7776

自衛隊のイラク反対！戦争ダメ！

能勢産直 寺本 陽一郎

大阪府豊能郡能勢町森上二五五
電話 (072) 341-1100
FAX (072) 341-1100

北摂高槻生活協同組合

坂田 幸二

大阪府高槻市大字原一三〇四
電話 (072) 688-4878
FAX (072) 688-4878

有限会社

奈良産地直送センター

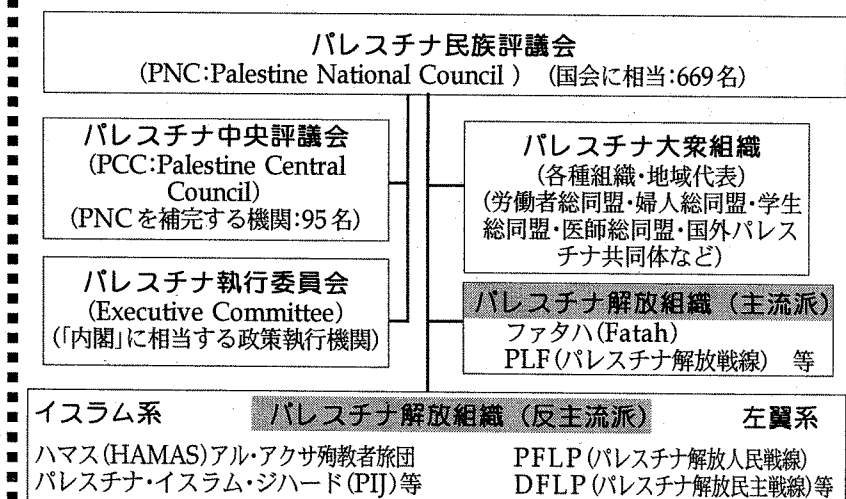
奈良市佐保台西町六二
電話 (074) 701-4800
FAX (074) 701-4800

阪神医療生活協同組合

赤田 清治

尼崎市常光寺一丁目二七
電話 (06) 648-1155

PLO (パレスチナ解放機構) 組織図



新年特集 パレスチナ現地レポート

インティファダと和平交渉を
両輪としたアラファト路線

(四下より)

アラファト氏への評価を聞くと、「彼は民族解放闘争の偉大なリーダー」との答が返ってくる。アラファト氏の遺体が西岸に帰ってきた時には、激しい移動制限にもかかわらず、数万人の民衆が議長府に駆けつけ、遺体の乗るヘリに押し寄せる姿が、西側メディアでも大きく報道された。しかし、故アラファト氏に対しては相反する評価が同居しているような気がする。

PLO結成からオスロ合意を経て自治政府樹立に至るまで一貫してパレスチナ解放運動を牽引してきたアラファト氏は、一方でその政治手法が、西側政府の言う『民主主義的』でなかったのは事実だ。こうした政治手法への批判は根強くある。大統領候補のムスタファ・バルグーティ氏(マルワ

ン・バルグーティとは別人。医師・市民運動家は、「自治政府の民主化」を掲げて大統領選を戦った。

しかし何よりアラファト氏の存在の大きさは、ファタハ内諸潮流、さらに左翼勢力やイスラム諸党派も含めて抵抗運動をまとめ、合意を作り上げ、団結の要となってきたその指導力と政治的な現実感覚にある。

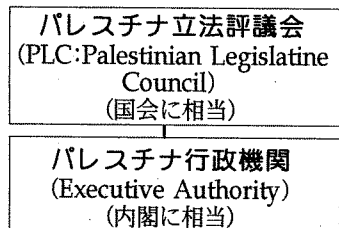
「二〇〇人に聞けば、一〇〇人が嫌いだ」と言っただけで断言したサナッド記者ですら、「アラファト氏の歴史的評価は？」と聞けば、躊躇なく「彼はパレスチナ解放運動を団結させることができた唯一の人物であつたと答える。

こうしたことも、彼がインティファダと和平交渉を両輪として、建国に向けたビジョンと具体的プロセスを提示してきたからに他ならない。シャロンがアラファト氏を排除し続けたのは、インティファダ路線を堅持し続けたからであり、そうすることでパレスチナの団結の要となってきたからである。

武装抵抗闘争に
ついでに議論

こうした困難を抱えながらパレスチナの人々は、何を議論

パレスチナ自治政府

自尊心を最後に支える
インティファダ
否定は、奴隷への道

「安いよー安いよー靴も草履も安いよー」振り返ると一〇才くらいのかわいい男の子が靴を持って大声で客を呼び込んでいる。エルサレム・旧市街ア

ラフ区域への出入り口であるダマスカス門前広場は、露天がひしめき合い、野菜から絨毯まで日常生活用品がぎっしりと並べられている。男の子の呼び声はひととき高く大きく、大人たちの売り声に混じって耳を引く。兄とおぼしき少年も中学生くらいで、品物の整理をし、弟に指示を出し、きびきびとよく働いている。彼らも立派に家計を支えているのだらう。

パレスチナの失業率は、四五%。第二次インティファダ開始から続くイスラエル軍による破壊、道路封鎖・外出禁止令などの結果、失業と貧困が増加し続けている。こうした中でも

し、困難をどう克服しようとしているのだろうか？「イスラエル地域での自爆攻撃は間違っている。一般市民が犠牲となるからだ。しかしヨルダン川西岸やガザ地区内のイスラエル軍や入植地を攻撃することは正当な抵抗闘争だ。」こう語るのは東エルサレムにあるヘブライ大学のユセフ・君(二〇歳)だ。彼はこの大学では数少ないアラブ系の学生で、国際政治を専攻している。

よう他の政治組織にも求めている。③の路線を取るのには、ハマス、イスラム・ジハードなどで「イスラエル軍の暴力が止まらない以上、武装抵抗によってのみ解放と独立は勝ち取られる」と主張し、今回の議長選挙ポイコットを決めた四ページ参照。

「私は、平和主義者ですが、世界各地の紛争の過程や特にパレスチナの状況を考えると、武装抵抗を通してしか解決策はないのかもしれない、と思ってしまう。パレスチナ側には、攻撃を行う理由がたくさんあります。イスラエルは当たり

謹賀新年 今年も共に頑張りましょう!

帰国者の裁判を考える会

機関紙 「ザ・パスポート」

「連絡・購読申込」
東京都港区新橋二丁目一六
新橋石田ビル四F教養連絡センター内
E-mail: sp@ky23web.ne.jp

北摂反戦民主政治連盟

大乱・激動の時代に我ら何をなすべきか
戦いを自分を変える年が明け
協同・未来

東京都中野区東中野一丁目一五
新日本文芸館二F
電話 (03) 三三六五二七〇六
FAX (03) 三三六六一四六五
E-mail: info@communists.jp
http://www.comunists.jp

別院物流センター

松永了二

京都府亀岡市東別院町鎌倉中垣内四一
電話 (077) 二七三三六五

大阪府議会議員

小沢福子

〒569-0077 大阪府高槻市野見町四一三九
電話 (072) 六七五一一八
FAX (072) 六七四一九七〇

健康に
頑張ろう!

よつ葉ホームデリバリー川西

兵庫県宝塚市山本丸橋二丁目一〇九
電話 (078) 八二二〇八三
FAX (078) 八二二〇八三

湧き上がる知への

探究心とオルグ力

●埼玉・樋口篤三

戦後六〇年。少年の日に「人生二〇年」と決意したの市民自治研究センター、世に、はるかに上廻る喜寿を迎えます。人生の佳境に達して強い知への探究心とオルグ力が湧き上がっています。

新たな親米脱亜、改憲福祉きりすでの流れに抗して、「これからの『もう一つ』の『社会をめざす』対抗戦略と統一左翼の根源的新生を天下同憂の士と志しています。労働運動―正念場を闘い学び歩みます。

「老いらくのアカ」(政治学・篠原一さんの名言)として闘い学び歩みます。



「一九八号」バリアのない街を読んで

発言は見逃せません

●山村千恵子

「歌舞伎町掃討作戦に反対する気持ちなど、全体として共感しながら呼んだのですが、買春を肯定するかのよう発言は見逃せません。

性欲は、人としての生の基本ではあるけれど、相手の生の基本である性を金で思うままにする思想は支配の思想です。性は人格に深く関わるものであり、それを金で支配するのは、人格を支配することを意味します。

現在の日本では、経済を動かす力は、男性に偏在しています。金のある方がない方の、自らの欲望によるない性行為を買い取る性的支配を認めることは、日本社会の、男性の女性に対する支配を認めるものになります。

神戸大学教授ロニー・アレキサンダーは、『タイの小さなセックス・ワーカーたち』という記事の中で、「し

これから「繋がり」を

大切に生きていきます

●京都・前進友の会・やすの里

年々なかまの高齢化が進み、だんだん身体が自由がきかなくなるなかまも増えて来ましたが、また、元氣も出せなくなってきました。しかし、いろいろな工夫をしながら何とかなかまみんなが毎日生活できるようにしてきました。

連帯と希望を

●東拘・重信房子

いつも新聞に励まされ「接見禁止」によって遮られ

「接見禁止」によって遮られ

「接見禁止」によって遮られ

「接見禁止」によって遮られ

「接見禁止」によって遮られ

「接見禁止」によって遮られ

「ケッコー」な判決

めざして頑張ります

●東拘・和光晴生

「Free As a Bird」

求刑は「無期鳥益」でした。コケッコーな判決をめぐり頑張り続けます。

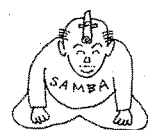
ヨンの国では死刑廃止目前です。韓

流に続こう！

本年もよろ

しくお願い申

し上げます。



ペンネームの

記事に感じて

しょう「軽さ」

●愛媛・

他の新聞では見られない記事があり有益ですが、ほとんどがペンネームらしく、それだけ無責任に言いたいことを言っている軽さを感じ、残念です。

還暦の新年、逆にアラブの民と、日本の民が間近にあることを自覚して、連帯と希望を育てる新年としたものです。貴紙の更なる発展を！

で稿を改めて取り組んでいく事をお約束します。(遙矢当)

情報ひろば

● 関西 ●

日本政府の公式謝罪と法的損害賠償を求める1・15集会
―戦後60年・日韓条約40年―

- 日時 1月15日(土) PM1:30~4:00
- 会場 尼崎労働センター(阪神「尼崎」駅より徒歩10分、北へ700m)
- 講演 ①日本軍「性奴隷」被害者李容洙さんの訴え
②戸塚悦朗さん(龍谷大学法学部教授)
「戦時性的強制被害者問題の立法解決に向けて」
- 資料代 1000円(学生500円)
- 連絡先 事務局・電話090-6983-6180

Stop Sending Army!! イラク派兵反対集会

- 1月16日(日) 午後1:30より
- 集合場所 JR「伊丹」駅アリオ前公園
JR「伊丹」駅～阪急「伊丹」駅～阪急「伊丹」駅周辺のデモ行進
- 「やめろイラク占領! 行くな・もどれ自衛隊!」実行委員会
連絡先:072-783-8660(伊丹教組 和田)
- ※あなたも平和のためにデモ行進に参加しませんか?

あなたの「言わせて聞いて」

を人民新聞まで!

★郵便・ファックス・電子メール、いずれでもOKです。



●米国・城崎 勉

もんじゅ事故から

一〇年になります

●たんぼ舎・柳田 真

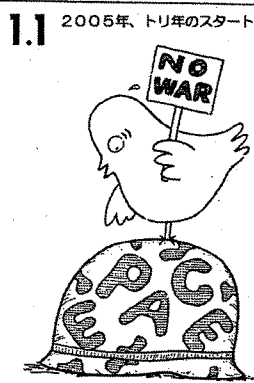
一九九五年のもんじゅ事故をきっかけに始まったろりばた会議は、今年で十年目になりました。本年も宜しくお願い致します。

アジアと共に歩む

日本に転換させよう

●朝鮮の会

展望なきまま、米一極化の道を突き進む日本の姿は異様です。今年こそアジアと共に歩む日本に転換させたいものです。



1.1 2005年、トリ年のスタート
今年こそ きっと平和を 見つけるぞ
橋本勝と文21世紀最初の10年の3652日より
2001年、2002年、2003年の365日 発刊中
2004年の366日 近刊(ふーじょんぶんとく)

●神奈川・橋本 勝